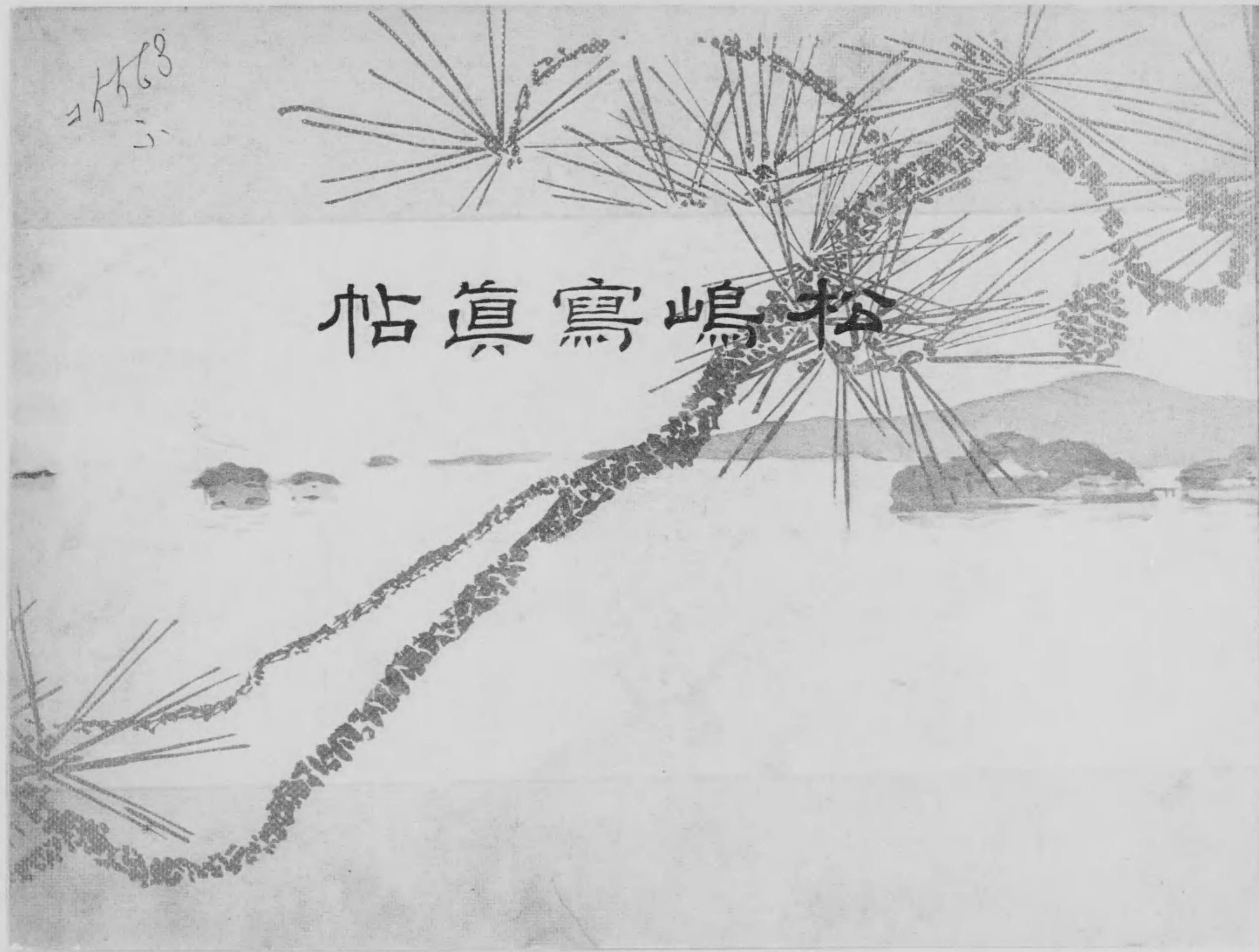


5568
5

松嶋寫真帖



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5

407-75

松嶋寫真帖

松島寫真帖目次

伊達政宗公及夫人の像……………二

瑞巖寺……………三

富山展望……………四

新富山……………五

大觀山展望……………六

貴賓館……………七

觀瀾亭……………八

パークホテル……………九

五大堂……………一〇

雄島附渡月橋……………一一

雙子島……………一二

經ヶ島……………一三

朝日島……………一四

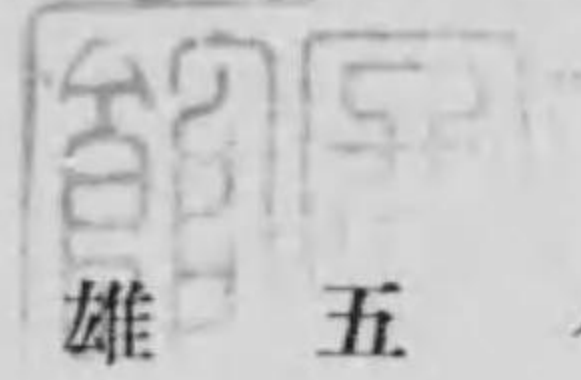
毘沙門島……………一五

扇谷展望……………一六

在城島……………一七

養魚場……………一八

鹽竈町全景……………一九



大正
2. 10. 14
内交

鹽竈神社	一九
多聞山麗觀	二〇
桂島海水浴場	二一
大高森展望	二二
高島	二三
不老山	二三
君ヶ岡展望	二五
菖蒲田海水浴	二六
御殿崎	二七
金華山全景	二八
金華山社務所の内部	二九
金華山本社の石階	三〇

目次 終

目次終

伊達政宗公及夫人の像

Statues of Date-Masamune and his Wife.

公は仙臺藩祖なり其一代の事績は世皆之を知る因てその梗概を
舉ぐ

公小字は梵王丸、後に藤次郎と改む左京大夫輝宗の子なり永祿十
年八月を以て生る天正六年十三歳にして元服を加へ政宗と名け
明年十月田村氏を娶つて室とす

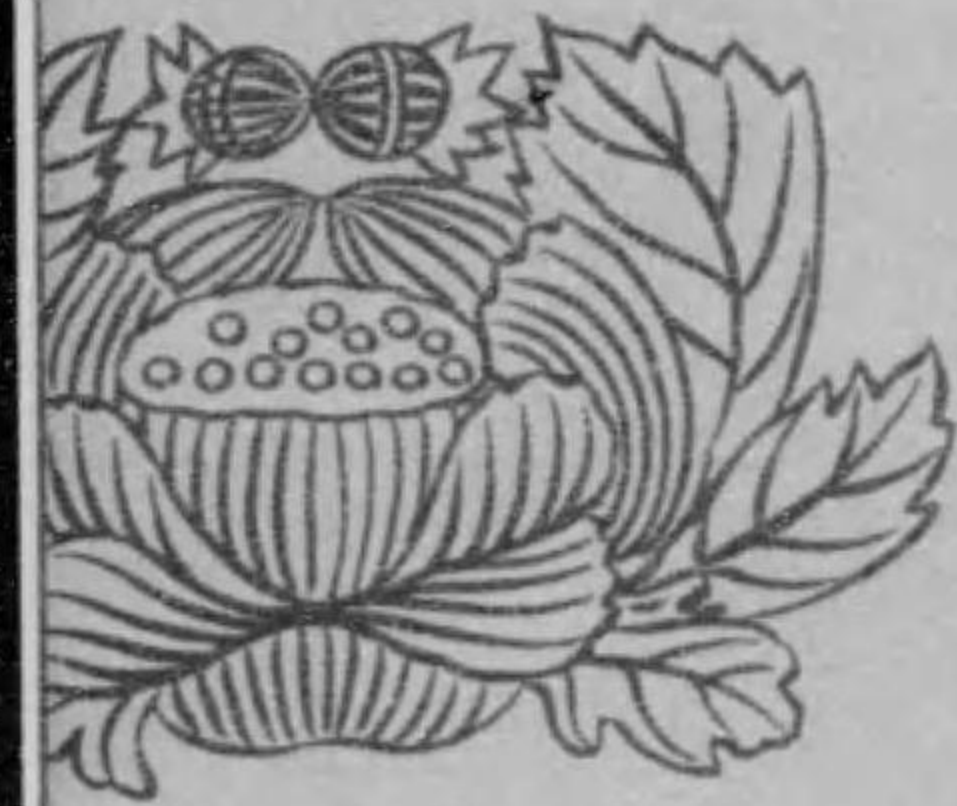
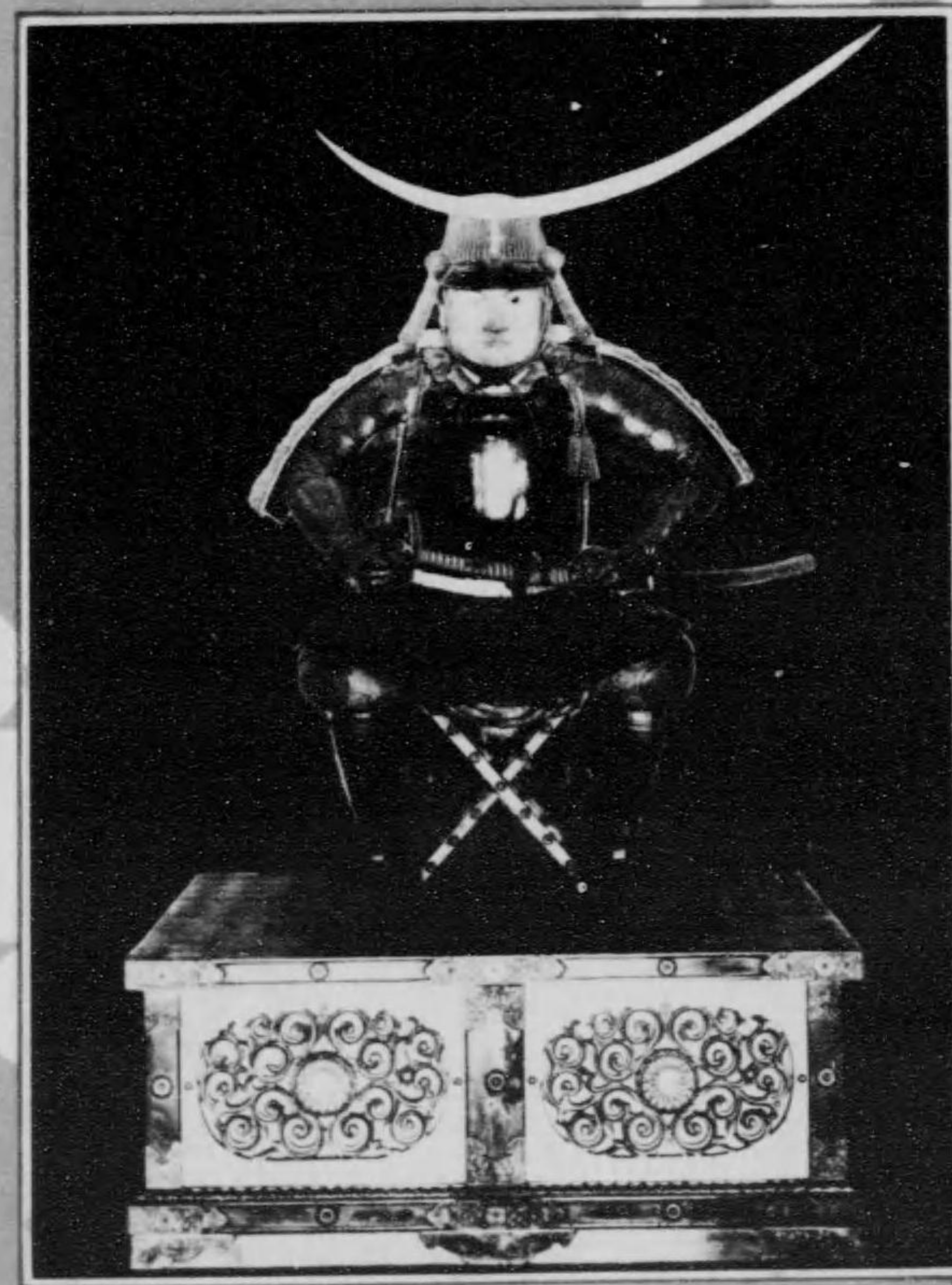
同しく十九年入朝す秀吉奏請して公を侍從兼越前守に任す徳川
氏の世に至り慶長七年仙臺城に徙住す後陸奥守に任し權中納言
從三位に進む

寛永十三年五月二十四日卒す享年七十歳法名瑞巖射貞山利公、明
治十三年十一月正三位を贈らる

夫人田村氏は三春の城主大膳太夫田村清顯の女なり田村家の嗣
を失ふや外孫宗良を以て家を嗣く宗良は即ち夫人の孫なり田村
家の血食する蓋し夫人の力與るもの多し其政宗に事ふや貞順に
して内助の效少なからすと云ふ

公及び夫人の像は松島瑞巖寺に在り來拜炷香當年の英風を追慕
するもの四時絶ゆる日なし公の東北に據るや儼然として一將軍
なり秀吉家康にして尙ほ之を憚つて如何ともする能はず今瑞巖
寺に遊ひ其規模を見て其像に接せは當時の狀想像するに餘らあ
るへし





瑞巖寺

Zuiganji (Temple).

瑞巖寺は古の松島寺にして始め天台宗なりしを後に山城國花園妙心寺に隸し臨濟宗たり仁明帝の朝承和五年慈覺大師の創造に係る其後文應中北條時頼風俗視察の途次來りて法身窟に宿し法身禪師と改宗を約し天台を革めて禪刹と爲し圓福寺と號す慶長九年秋八月伊達黃門政宗天下の名工を招き遠く良材を紀州熊野山に採り宏厦大殿を造營して金碧燦爛輪奐の美を極む慶長十四年三月竣工し改めて青龍山瑞巖寺と號す明治九年明治天皇東北御巡幸の日蹕を此寺に駐めさせ給ふや政宗の經營に成れる上段の間を以て玉座に充てさせらる明治四十一年今上陛下の尙ほ東宮におはしませし時亦駕を枉けさせ給ひ多羅葉樹を御手栽あらせらる今寺域に在りて其榮を語れり



富山展望

Panoramic View of Tomiyama (Hill).

富山は松島の東北二里餘の海岸に起てり山上に延暦二十年坂上田村麿建立の觀世音を祀る降て寛永年中洞水和尚茲に一禪刹を營み大仰寺と號す同寺の庭上より俯瞰すれば灣内の群島一瞬の中に收り遠くは不忘山、相馬の群峯を雲煙模糊の間に望むへし凡そ松島の全景を縦觀せんとする者は必ず此に登るへし明治九年先帝陛下東北御巡幸の日蹕を此地に駐められ其風光を愛てさせ給ひ明治四十一年十月今上陛下の尙ほ東宮にかはしませし日亦御輦を枉けさせ給ひ其景を賞させ給へり



新 富 山

Shintomiyama (Hill).

瑞巖寺の東北、松島停車場に至る舊道の西方高丘
之なり上に四阿あり幾多の水田を隔て、松島の
群島を眸中に集む風光の佳麗富山に亞くを以て
新富山の稱ある所以なり



大觀山展望

Panoramic View of Taikwanzan (Hill).

山は瑞巖寺大門前觀月樓背後の高丘を稱す故有
栖川大將宮殿下及び閑院宮妃殿下御手植の松あり
此山始め阿彌陀山又は旭山と稱したりしを明治
三十九年公爵徳川慶喜此地に遊ひ大觀山と命名
せらる明治四十一年十月 今上陛下の尙ほ東
宮におはしませし日、此に御登臨あらせ給ふ山上
より近くは五大堂、經ヶ島、福浦島、朝日島、雙子島、雄
島を望み遠くは富山、東名丸山、桂島、石濱、野々島、寒
風澤、大高森等を指點し風光佳絶、眞に大觀の名に
背かず

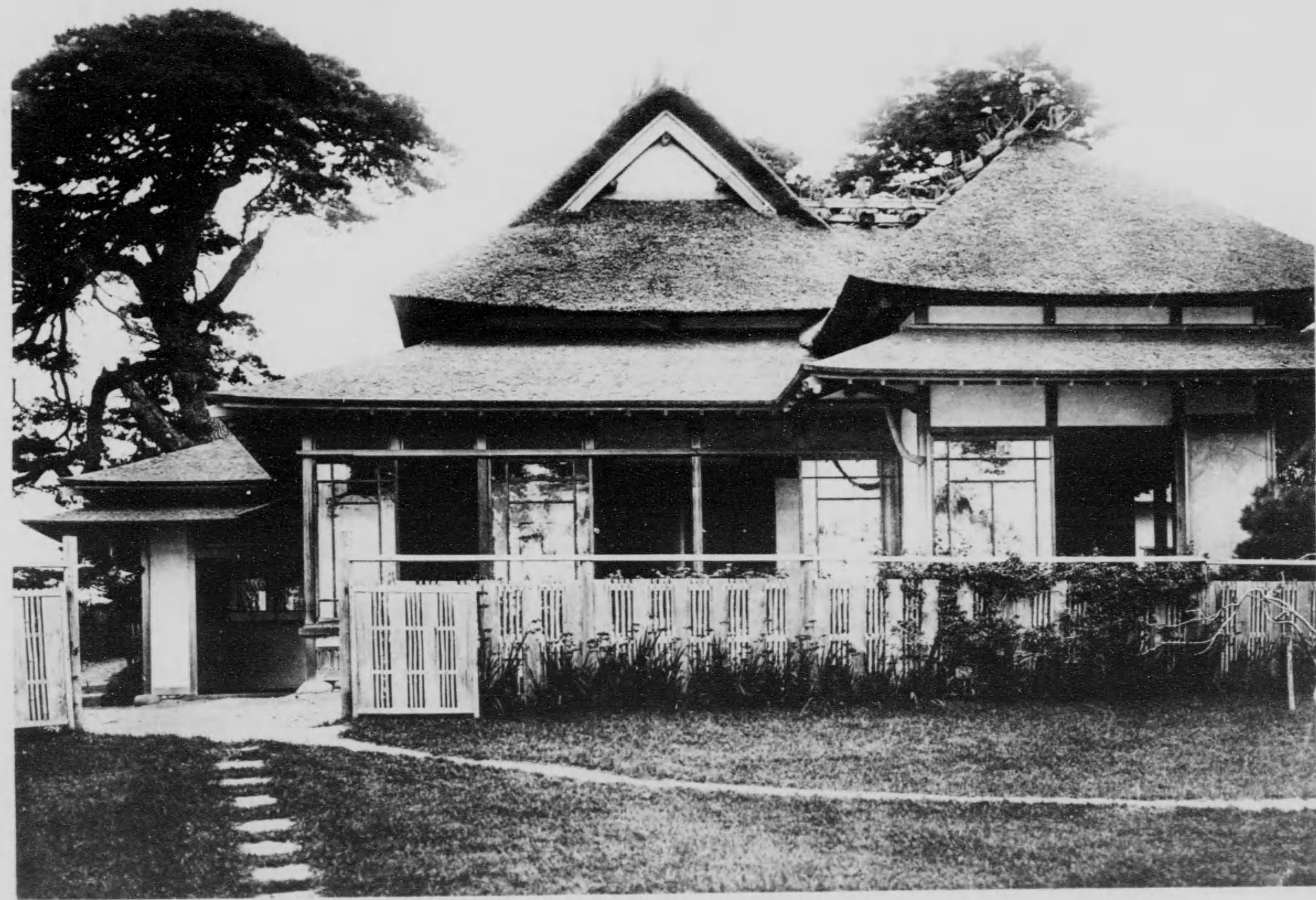


貴賓館

Kihinkwan (Reception-Hall).

大觀山にあり觀月樓主大官司某此地に遠來の貴賓を留むるに足るの旅館なきを憾み明治四十年新たに此館を建築す明治四十一年十月今上陛下の尙ほ皇太子にましませし日特に茲に臨御あらせられたり貴賓館の後に勅使の松あり鳥羽帝の時見佛上人へ勅使あり當時手栽せられたるものと云ふ貴賓館の下方數歩に白鷗樓あり二層樓なり明治四十二年時の韓國皇太子來臨の際伊藤公爵の命名せられたるものにて公の筆「白鷗樓」の三字の扁額あり

眺望孰れも佳絶なり

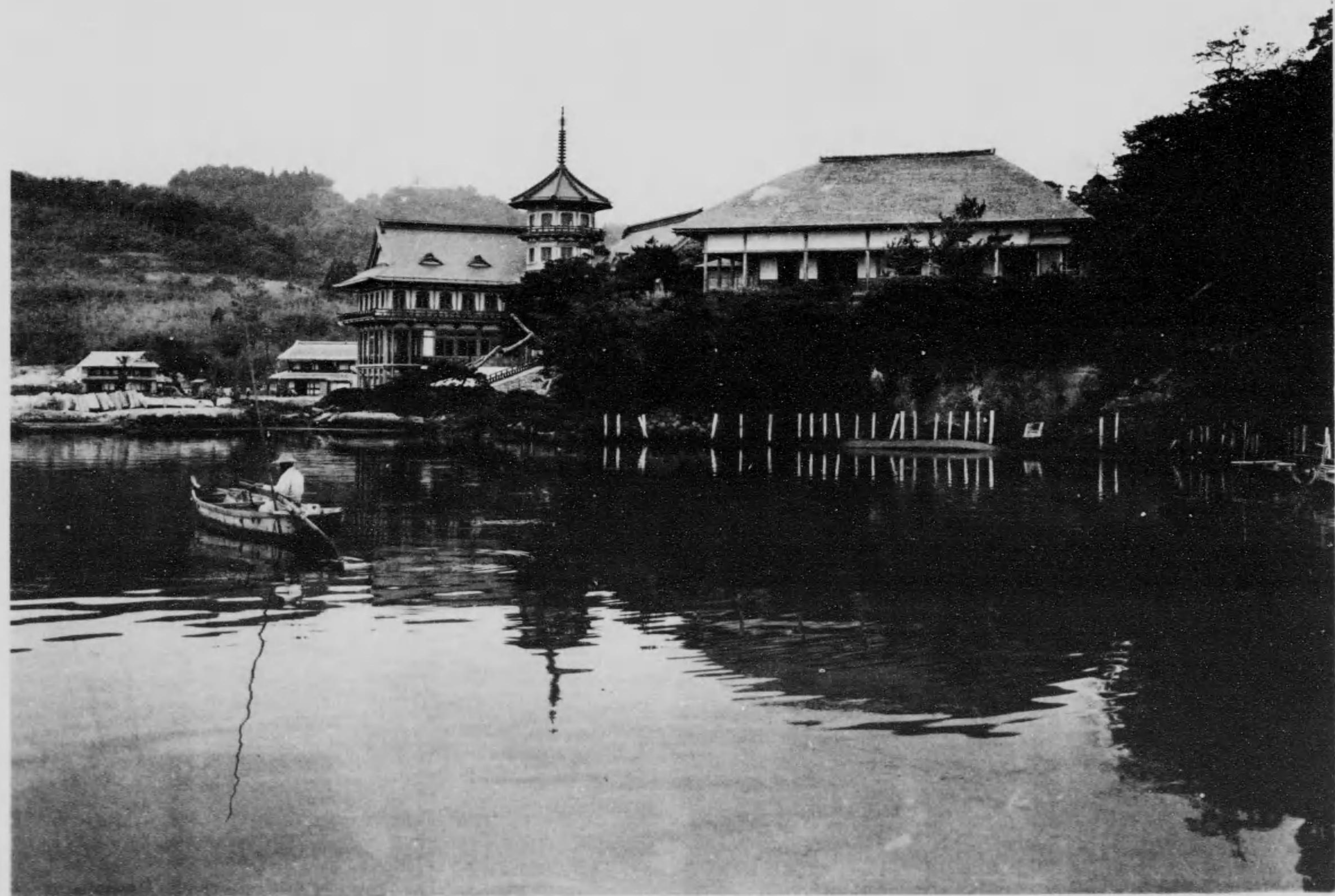


觀 瀾 亭

Kwanran-tei (Hall).

觀月崎にあり此邊最も風光に富み松島八景の一に算へらる岬上巖頭の觀瀾亭は藩祖政宗の別墅なり曾て豊臣太閤伏見の行殿なりしを政宗に賜ひ政宗之を解體舶載して此地に移し建つ舊觀全備失ふ處なし障壁に金を貼し丹碧燦然たり亭上に三箇の扁額を掲ぐ一は「觀瀾亭」の三字にして佐々木雲龍の筆、一は東坡か西湖の詩句を摘みたる「雨奇晴好」の四字にして政宗第五世吉村の筆、一は「觀瀾」の二字にして第七世重村の筆なり

寫眞の向つて左方なるはパークホテルなり



パークホテル

Park Hotel.

パークホテルは縣營の建築に係り其構造恰も鳥の兩翼を張るか如く建坪百二十坪餘にして木造三階建なり内外賓客の宿泊に便すホテルの前面雄島の北に在るを屏風島と云ふ壁立屏風の如くなるを以て其名あり



五 大 堂

Gotaido (Temple).

松島海岸の左邊に一小島あり隻橋を架して相ひ
通す島上に五大明王を安置す因て島の名に命す
大同二年坂上田村磨東夷征伐の時の建立に係り
後世に及び慶長五年領主伊達政宗之を修營せり
堂宇は現に保護建造物に係れり藤波の歌は此五
大堂の橋を咏せしものとも云ふ

民部卿忠敦

ふみ分て渡りもやらす紫の

藤波かゝるまつしまの橋



雄

島 附 渡 月 橋

Oshima (Islet) and Togetsukyo (Bridge).

雄島又御島と稱し、斷崖奇峭、古松其上に鬱蒼とし、
眼を放ては、東南海上の洲嶼一眸の中にあり、松島
中最も奇勝幽景の所たり、島中に松吟庵の舊址あり、
見佛上人、賴賢和尚の居りし處と云ふ、又雲居禪
師の坐禪堂あり、「把不住軒」と號す、骨堂あり、賴賢の
古碑は唐僧寧一山の書する所世に呼んで雄島の
碑と云ふ

小松崎より雄島に渉るものを渡月橋と云ふ、橋窄
くして溪深く俯瞰殆んど目を眩す

皇太后宮大夫俊成

立かへり、又も來て見ん、松島や

をしまの苦や、浪に荒すな

大槻 磐 溪

月搖松影上吟衣。

石徑高低步步移。

探盡雲居坐禪窟。

挑燈立讀一山碑。



雙子島

Futakojima (Isle).

雄島の前に在り兩島相並ひ立つを以て其名あり
一に玉島とも云ふ

雙子島

Futakojima (Islet).

雄島の前に在り兩島相竝ひ立つを以て其名あり
一に玉島とも云ふ



經ヶ島

Kyogashima (Islet).

福浦島の南にあり島中に經塚あり松島寺改宗の際天台の經文を燒きたる所なりと云ふ又領主吉村の世、天嶺和尚の建立せし五重塔あり高さ一丈二尺五寸



朝日島

Asahijima (Islet).

福浦島の東南にあり左方の古松叢峙せるものは
引通島にして前面を朝日島と呼ひその右方は千
貫島なり寫眞は引通島の南側より撮影せるもの
なり



毘沙門島

Bishamonjima (Islet).

雙子島の南に位し大黒島、恵比壽島、布袋島に隣接す島中に毘沙門の石堂あり因て名く



扇谷展望

Panoramic View of Ogizaki.

扇谷は松島四大観の一にして半腹に海無量寺あり頂上に達摩堂あり東南は海に臨み峽勢漸く開て左右に分れ宛かも扇面を展るか如し要島、小町島、伊勢島、在城島、都島、十二後島等は指呼の中にあり多聞山、馬放島、材木島、石濱、桂島、野々島、寒風澤、宮戸島、大高森等數百の島嶼亦一眸の間に描かる



在城島

Zaijōjima (Islet).

舊藩主舟遊の時即ち此島に休息せられたりと云ふ其名ある所以か燈島、鐘島、化粧島、鞍掛島、甲島等來て其光景を帮く



養魚場

Fish-pond.

鹽竈町崎山の北方字杉の入表にあり水上某の經營に係り面積の坪數十一萬餘、主として鰻^{うなぎ}鱧^{なまこ}を養ふも鰻、鱧も亦之を養成し垂綸一日の清興を樂むも可なり



鹽竈町全景

Bird's eye View of Shiwogama.

松島灣に臨める東北の良港にして戸數一千五百
人口八千餘、東北海岸に於て汽車と相ひ連絡する
もの一に鹽竈あるのみ故に商船常に輻湊し松島
に遊ぶもの亦此地に艤裝す是を以て遊覽の客四
時絶えず此地一に千賀ノ浦とも云ふ古今人の風
咏少なからず其一二に曰ふ

藤原清輔

鹽竈の浦ふく風に霧はれて

八十島かけてすめる月影

隆信朝臣

あけぬとや釣する船も出ぬらん

月に棹さすしほかまの浦

詩佛

萬點青螺返照收。 埠頭潮滿綠如油。

欲探東海神仙窟。 先上蓬萊第一樓。



鹽竈神社

Shiwogama-jinja (Shrine).

鹽竈町の西北丘上に在り祭神は志波彦大神、鹽土老翁神なり國幣中社にして慶長十二年伊達政宗の修造に係り其後四世の孫綱村更に規模を擴張し社殿の結構美を極め麗を盡す社前に文治三年和泉三郎寄進の南蠻鐵燈籠あり境内の老杉鬱蒼として其幽趣蓋し東北第一と稱す

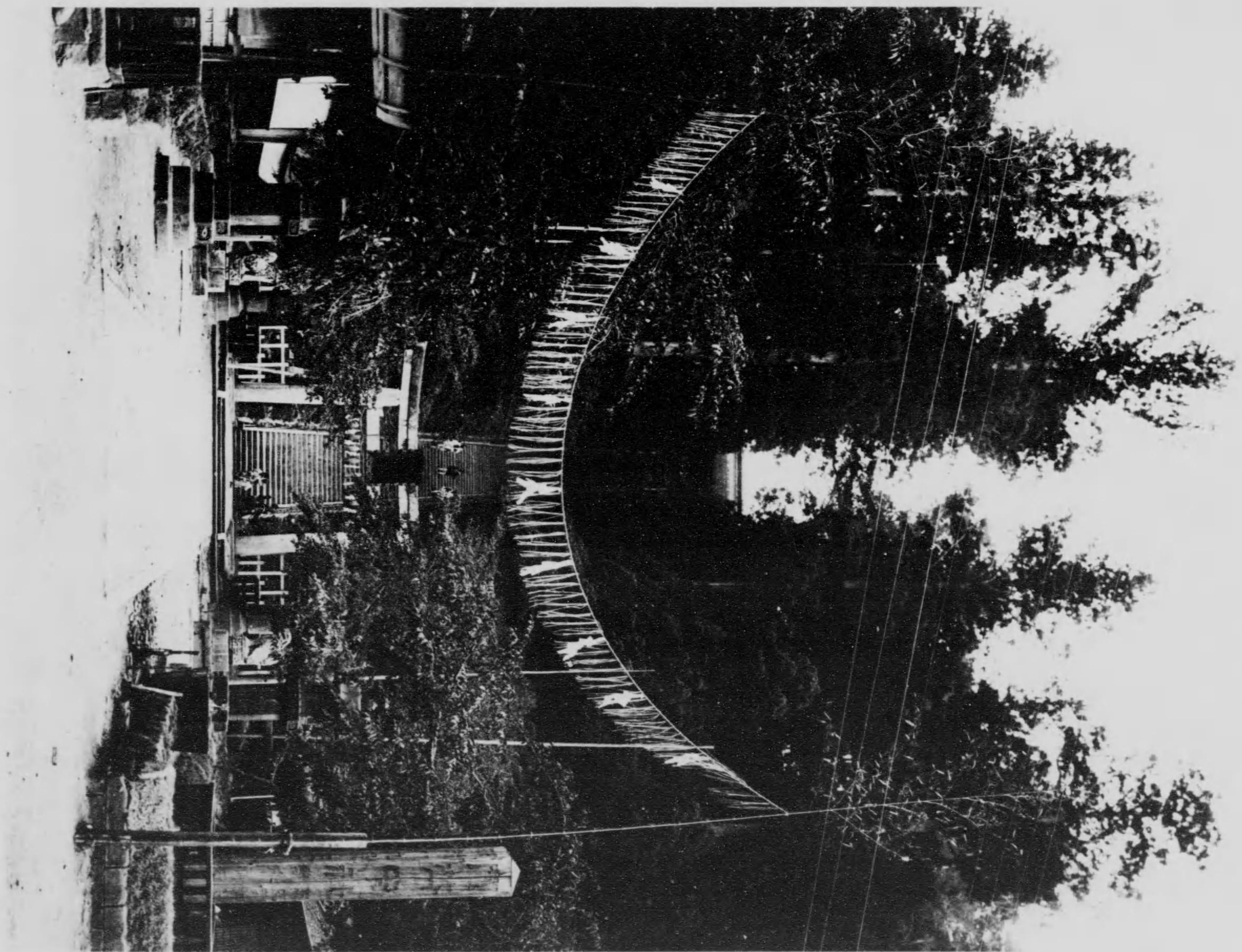
磐
溪

石壇古松曉暎紅。

來謁東方第一宮。

煮海鐵鑄今尙在。

千年古廟祭鹽翁。



多聞山麗觀

View of Tamonzan (Hill).

松島四大觀の一にして幽趣靜寂の仙境なり馬放
島、金島、二王島、船入島等灣内遠近の島嶼來つて吟
眸に入り去來の帆船島影波光の間に隱顯其景最
も佳なり



桂島海水浴場

Katsurajima Bathing Place.

鹽竈の東、四哩の海上にあり松島公園計畫の一として率先之を經營せり浴場は外海に面せる須賀松海岸にあり青松白沙遠く連なり岸を距る數十歩の海上に一小島横はり海水頗る清澄にして穏波灑灑、白沙の外餘物を置かず遠淺にして最も浴遊に適す



大高森展望

Panoramic View of Otakamori.

松島四大觀中最も高嶺を占め頂上に樹木あり四
望敞然、東南は外洋に向ひ渺乎として萬里際涯な
く東は牡鹿の連山參差形を弄し西北は栗駒、白鬚、
不忘の諸山指點の中に入る若し夫れ近く脚下を
俯瞰すれば江村漁戸を控して灣内數百の島嶼は
皆目睫の間に集る眺望爽快絶世の壯觀たり松島
に遊ぶ人大高森を見て而して後始めて其雄大な
る景勝を語るを得へし



高 島

Takashima (Iseto).

宮戸島室の濱にあり太平洋の海波激する所數十丈の巖柱突起し巖上の松樹遠く望めは花魁の筭簪を戴くに似たり因て亦花魁島とも謂ふ真に奇観なり



不老山

Furazan (Hill).

松島の東方、野蒜海岸にあり山脚に幾多の洞穴あり波濤衝擊して其中に出入し激して巖頭に碎け一進一退雷の吼ゆるか如く雪の飄へるに似たり亦一奇觀とするに足る



君ヶ岡展望

Panoramic View of Kimigaoka.

君ヶ岡は七ヶ濱村なる吉田濱に在り北方には近
く松島灣内の諸島を控し南方には遠く磐城の諸
山を望み内灣外洋其勝を一眸に集め展望の開豁
又一顧に値ひすへし



菖蒲田海水浴

Shobuta Bathing Place.

菖蒲田海水浴場は眺望ヶ崎の東方、長須賀の長汀
にあり明治二十年開始す眺望ヶ崎に旅館大東館
あり毎年盛夏の候避暑浴海の客多く漸く遠近に
知らる此地眺望に富み風光賞するに値す



御殿崎

Gofenzaki (Promontory).

七ヶ濱村に在り岬は海中に突出して懸崖數仞削
るか如し巖下の小島は即ち松ヶ浦島にして島上
に怪松懸倒して姿を波に弄し白浪巖根を噛み雪
花散して又集る西方は白沙青松相ひ連り遙に相
馬の半島に對して仙臺城址、不忘山、泉ヶ嶽等の群
峯を望み東方は金華の諸島を矚眸の中に收め風
光雄にして美なり又最も雪景に宜し藤原光俊の
歌に

ふりつゝもる雪ふきかへす汐風に

あらはれわたるまつかうら島



金華山全景

Bird's eye View of Kinkazan (Island).

金華山は本縣牡鹿郡の海上に突起する圓錐狀の孤島にして海拔一千四百七十呎牡鹿半島の東端と相對し水道約半哩、山鳥の渡と云ふ鹽竈より海上を行く時は約三十哩と云ふ山上に大海祇の社あり古くは辨財天を鎮座す山中又諸處に奇勝あり海沙金色を帶ふ蓋し金華山の名ある所以か或人云ふ大伴家持の歌

すへらきの御代榮えんと東なる

みちのく山にこかね花さく

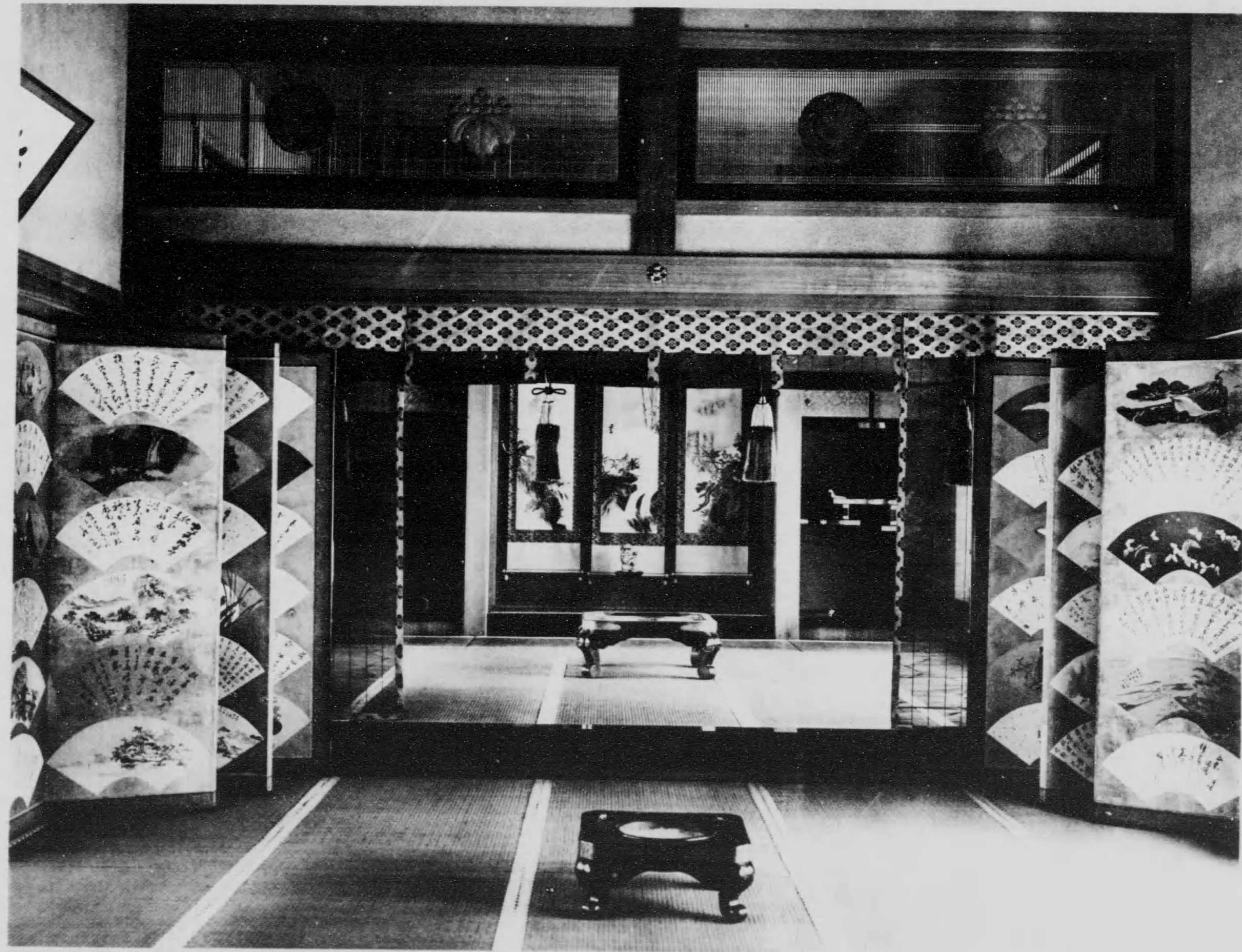
と云ふは此金華山を咏するなりと學者之を非とするもの多きも之を以て金華山とするものも亦久し



金華山社務所の内部

Interior of the Office of Kinkwazan Shrine.

山腰にあり、山鳥の渡を望めは風光極めて佳なり
圖は所内「栖鳳閣」の廣間にして仙境亦此壯麗あり

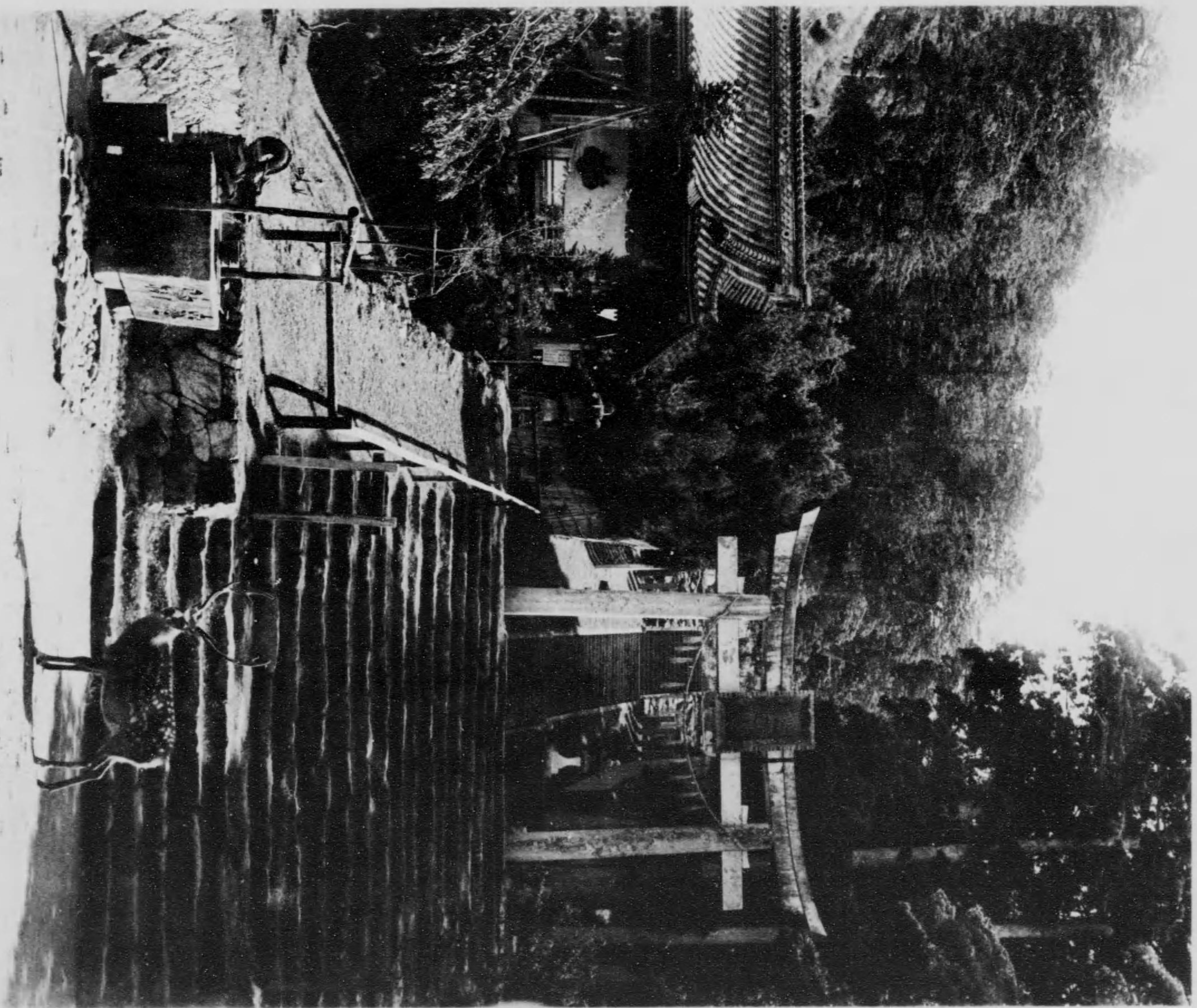


金華山本社の石階

Steps before Kinkwazan Shrine.

本社は山の中腹に在り西に面して石階疊疊老樹鬱蒼の間に入る階を登り盡して拜殿あり其奥に縣社黄金神社の本殿あり之よりして亦頂上に登るべく途上又躋勝の區多し山中の勝を舉ぐれば左の如し

天柱石	胎内潛	大浪越	千疊敷
燈臺	飛石	鋒石	黄金石
龜石	等々		



大正二年九月二十日印刷
大正二年九月二十五日發行

宮城縣廳

不許
複製

印刷者 田山宗堯

東京市日本橋區數寄屋町一番地

終

15563
5,